

所企第46号
平成30年8月10日

北関東防衛局長 吉田 廣太郎 様

所沢市長 藤本 正人



FAC3049 所沢通信施設への航空機の飛来について

平成30年7月2日及び7月11日にオスプレイが所沢通信施設及び上空に飛来したことに対し、当市といたしましては、7月3日及び7月12日付でそれぞれ貴局に対しまして要請書を提出し、「オスプレイが今後も所沢通信施設に飛来することはあるのか」などについて回答を求めておりましたが、過日、貴局より米軍からの回答として「オスプレイは今後も所沢通信施設へ飛来する可能性がある」との報告をいただきました。

米軍施設を抱える自治体の首長といたしましては、日米間の安全保障の重要性は理解しているものの、所沢通信施設周辺は多くの学校や防衛医大病院、集合住宅等が所在する人口密集地域であるため、航空機の飛来により、安全や騒音問題等、市民生活への影響について懸念しております。

つきましては、今後のオスプレイをはじめとする、航空機の運用につきまして下記事項のとおり要請するものです。

記

2012年9月の日米合同委員会合意事項には、「人口密集地域及び学校、病院等といった上空を避けて飛来することは、合衆国の航空機の標準的な慣行である」と謳われています。貴局におかれましては、この合意事項の遵守を徹底するよう米軍に求めるとともに、今後、所沢通信施設にCV-22オスプレイをはじめとする、ヘリコプターなどの航空機を飛来させないよう強く米軍に対して働きかけていただくことを要請します。